

**南相馬復興大学
復興人材育成プロジェクト**

■南相馬復興大学■

農商工²ビジネスモデル作成講座

勝瀬先生



杉本先生



岡田先生:早稲田大学



大和田先生:LBA



関係

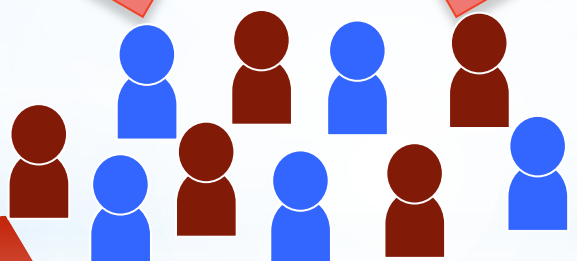
関係

関係



プラットフォーム

自らのビジネスモデルを構築する講座



南相馬の人材



東京の人材



交流・刺激

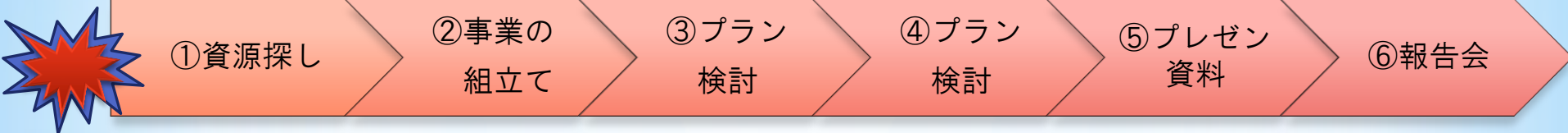


個人事業主・求職者・行政職員
1次～3次の各産業従事者

学生・NPO・会社員など
南相馬復興への志ある人

●カリキュラム

- ・南相馬市を舞台とした農商工²ビジネスモデルづくりを学べる
- ・最先端の講師陣によるプラットフォーム
(寄せ集めではなく、連携できる講師を集め、凝縮して実施)



開催回	開催日	参加人数
キックオフシンポジウム	9月23日	37名
第1回 資源さがし	10月28日	23名
第2回 事業の組立	12月2日	31名
第3回 プラン検討	12月22日	28名
第4回 プラン検討	1月13日、14日	25名
第5回 プレゼン	2月23日	31名
成果報告会	3月5日、3月6日（青空市）	20名、69名

■第1回復興大学「資源さがし」フィールドワーク



■第2回復興大学「資源分析と事業の組立」



資源を取り巻く環境分析

資源名(特産品) 柚子のかんろ煮

津田和彦
中島淑子
小山由紀子
高橋圭二
佐藤紳哉

外的環境

O 機会

消費されずに捨てられていた
役場のすすめ
栽培している所は現状でもかなりある
(製品化可能)

T 脅威

一般的に柚子は放射能値が高め(風評被害)
高齢化
風評被害が消えるまでにどれくらいかかるか

S 強み

種無し
皮ごと使える(ビタミンC)
名取あたりが北限(北限の柚子)
観光協会特産品として認定
色合い綺麗(食欲そそる)
冷凍も可能
日持ちがする

「鹿島の柚子」として多商品を開発してアピール
除染
普及拡大 市民から

内的環境

W 弱み

商標登録未
製造特許未
手間がかかる
保健所の許可
加工施設の建設が必要
収穫に手間がかかる

他の産地から原料を購入
技術をたえさせない
身延(山梨)などから余っている柚子



■第3回復興大学「プラン検討」 (今年度の目標設定・目的の明確化)

■第4回復興大学「プラン検討」 (具体化・各個人の役割の明確化)



資源を取り巻く環境分析

資源名(観光、文化)
南相馬の祭り

星野賢一
福井
今野
高村
湯ノ上

S 強み

相馬野馬追い、民謡の宝庫 盆踊り
現代版野馬追い(ハーレー)オートバイの祭り
杉並区と姉妹都市
合唱、カラオケ歌うことが好き
原発被災地である

W 弱み

宿泊施設の少なさ 小さな祭りがバラバラ
被災地 旅行業者が来ない
閉店時間が早い 参加意識の低さ
情報発信下手

内的環境

外的環境

O 機会

全国に知られていない
注目されている(ニュース報道、映画)
語り部として年寄パワーがある
外国から興味をもたれている
ボランティアのロコミ

PR、情報発信

民泊交流

T 脅威

避難したまま戻らないため、若者や子供
がいないので伝承者がいない

競争していない

風評被害

誰に

何をしてもらうのか

メディア、マスコミ
報道、全国発信

再エネの里ハッピーエコファームのPR
広く皆が知り共感・納得
現地が明るく取り組む姿を知ってほしい

都会のお金持ち

出資、資金集めに協力、パネルオーナー、市民参加ファンド

企業→ファンド系

→メーカー(ソーラーパネル企業)

パネルの提供

省エネが活かされたまちづくりビジョン
エコビレッジのブランドデザインイメージの明確
農地利用の規制緩和
農転の特別ルールを作ってもら
農地利用の枷を外してもら
行政は農地保全、転用許可

建築家設計家
都市計画

農水省課長クラス
農政の役人 政治家

研究者(専門家)

省エネ技術の応援
畑のオーナー

NPO, NGO

教育関係

授業にツアーを導入
エコロジー教育の実践場として紹介
教育の一環として

脱原発～再エネの必要性
再エネ利用ネットワーク
脱原発行動の具体化
市民社会の実験(コミュニティ作り)

農業関係

ボランティア、作業の協力、都会との情報共有、一緒に作る建てる、自分の農地を活かすための見学

旅行会社

農業体験、南相馬市のPR、新しいツアー作り

再エネ電力を購入したい人

電気を買ってもら、ファンド作りに参加してもら

環境コンシャスな人たち、市民一般、団塊世代

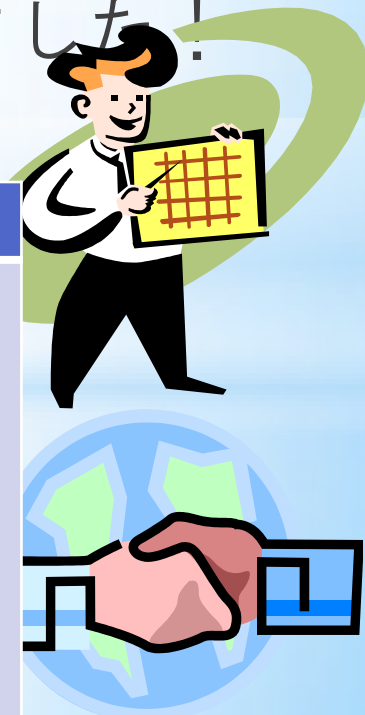
■第5回復興大学「プレゼン練習」



東京成果発表会

- * 復興大学でつくったビジネスプランを発表
- * 招待客は東京の企業やNPOなど、南相馬に支援をしても良いと考える人に集まっていたいただきました。
- * その場で自分の計画に不足している「ヒト、モノ、カネ、アイデア等」の提供を呼びかけました！

参加者数	69名
主な参加者の企業、団体名	経済産業省、農林水産省、千葉県、早稲田大学、東京大学、広島経済大学、法政大学、関西大学、国立環境研究所 日経新聞社、日本食料新聞、電通、日本放送作家協会 三菱地所、じゃらん、クラブツーリズム、富士製紙企業組合、日本総合研究所、サイボウズ、フリーライター 等



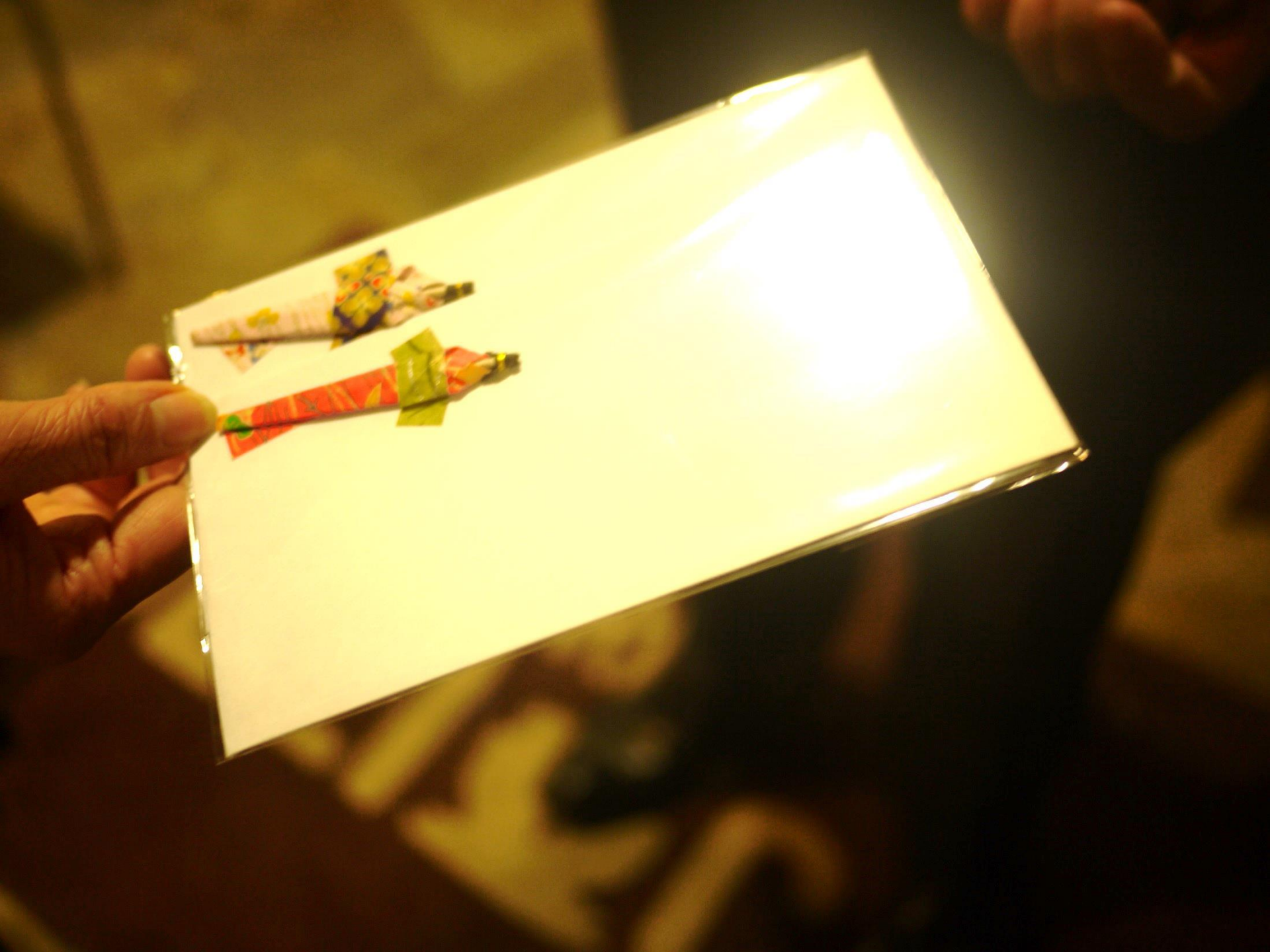


南相馬復興大学交流会



南相馬復興大学交流会





①「風評被害に負けない 南相馬の農業のいま」
いま行われている南相馬での農業の取組のご紹介



③農業再生と地域活性化 南相馬ソーラーシェア
農業×太陽光 農地活用の新たな方策のご提案



②「柚子の甘露煮 めんこいゆずっこ」
南相馬のゆずをつかった甘露煮商品のご紹介



④「伝統文化と災害復興の現場から未来を学ぶ」
野馬追と災害復興の市民語り部によるツアーのご提案

野馬追い見学は小グループがおすすめ

3日間はいったるところで同時並行にミニイベントが展開されます。テーマを選んだミニツアーを組み合わせていただくのがおすすめです。

野馬追を支える人々
(イベント合間のミニツアー)



民家で行われる出陣式。その準備風景も少人数(ガイド付き)なら可能



卒業生の仕事場見学



伝統舞踊(虎丸山)の鑑賞